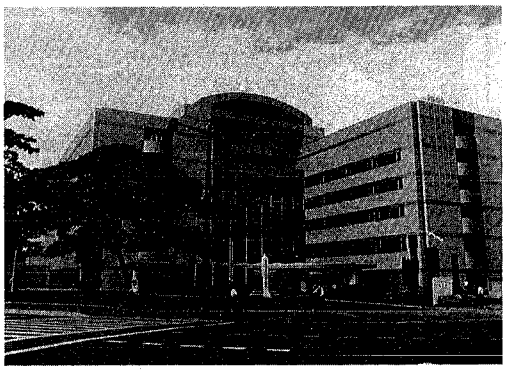
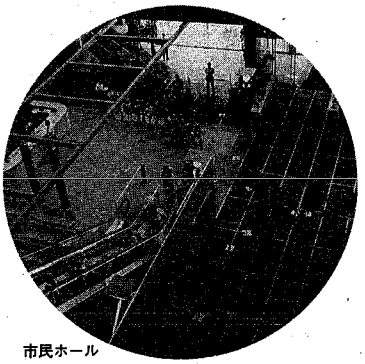
市報
平成元年
9月17日
第1177号
# にいがた
発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-866　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（8月末現在）
人口 475,922人
男 231,048人
女 244,874人
世帯数 160,371世帯

# あす18日から 市役所は新庁舎で そろって業務を開始

あす十八日から、市役所が移転作業もすべて終え、新庁舎（学校町通一番町六〇二番地一、☎228―1000）ですべての業務を行います。今まで離れていた分庁舎とも連絡通路でつながれ、機能的にも一体化し、明るく、市民に親しまれる新潟市のシンボルとして、市民の皆さんの来庁をお待ちしています。




市民ホール

新庁舎は、地上七階、地下二階の建物で、延べ床面積約二万三千平方㍍、中央部には十分な採光をと四階まで総ガラス張りの吹き抜けを設け、外壁も淡いベージュ系のタイル張りにし、明るく、市民に親しまれる庁舎を目指しています。

正面の星・人・波・風紋・太陽をあらわすモニュメント〝希望〟、日本一〇〇松の一つに数えられる老松をながめながら、玄関に入ると、市民ホールが吹き抜けとなっており、大きなガラス面から明るい自然光が差しこむようになっています。

また一階の市民ロビーには、広報ビデオ、文字放送などが常じだされ、窓からは光が逆しこみ、サンクンガーデンが見下ろせます。ここにはモザイク壁画「飛翔・日本海」、モビール「限りなきスーパーマリーン」もあり、ゆっくりくつろげる新しい憩いの場となっています。

窓口業務を扱う課は利用しやすいように低層階に配置し、一階と二階はエスカレーターで結んでいます。

新庁舎本館・分館の配置は下図のとおりとなっています。

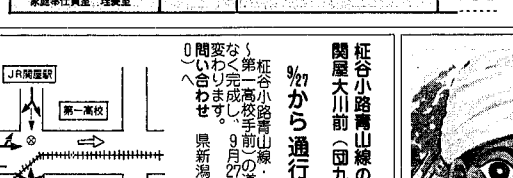
このほか、外まわりはフランスの彫刻家アールデルの代表作「ペネロープ像」、市制一〇〇周年を記念して制定された「市民憲章碑」、市の木・柳などで飾られています。

あす18日から新庁舎で業務が行われます。どうぞ、お気軽に来庁下さい。

モニュメント「希望」

市民ロビー

## 本館・分館の庁内案内




# 親しみある市庁舎 開かれた行政へ努力

新潟市長 若杉元喜

新潟市は今年、市制施行一〇〇周年を迎えました。これはまことに記念すべき年であります。

この記念すべき年に、念願の新庁舎がめでたく完成するに至りましたことはまことに喜びにたえません。これもひとえに関係各位の格別のご協力と、市民の皆様のご理解のたまものと深く感謝申し上げる次第でございます。

思えば、長い間にわたり老朽、狭隘（あい）しかも分散庁舎で、市民の皆様に大変ご迷惑をおかけしてまいりました。

新庁舎は新しい時代にふさわしい行政の近代化を目指し、市民の利便性を第一とした充分な機能を盛り込んでおります。名実ともに県都新潟の象徴であり、市民サービスセンターとして全国に誇れる庁舎であると思っております。

これを機会に、本市が従来より推進いたしております「人間尊重と市民生活優先」をさらに憲調としながら、親しみのある市庁舎、開かれた行政に向け、全職員ともども努力してまいりたいと考えております。

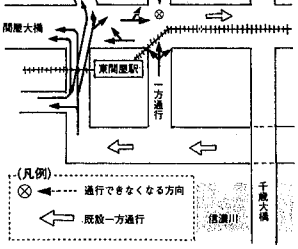
今後とも市政進展に一層のご協力をお願い申し上げ、竣工のごあいさつといたします。

## 電話案内

| | |
|---|---|
| 市役所・教育委員会 | 228―1000 |
| 野球場・テニスコートの申し込み | 266―8111 |
| 火災の場所を知りたいとき | 224―1111 |
| 〃 | 244―1119 |
| 市民病院 | 241―5151 |
| 園芸センター | 286―1034 |
| 東保健所 | 243―5311 |
| 石山地区保健センター | 286―4450 |
| 鳥屋野地区保健センター | 285―2373 |
| 北地区保健センター | 259―7332 |
| 西保健所 | 266―5171 |
| 西地区保健センター | 262―3405 |
| 坂井輪地区保健センター | 260―3255 |
| 市医師会休日急患診療センター | 231―4135 |
| 県歯科医師会休日歯科診療センター | 283―3030 |
| 水道局 | 266―9311 |

## 柾谷小路青山線の関屋大川前（団九郎交差点―第一高校手前）9/27から通行方法が変わります

柾谷小路青山線・関屋大川前地内（団九郎交差点～第一高校手前）の道路拡幅（四車線化）工事がまもなく完成し、9月27日から通行方法が左図のように変わります。問い合わせ 県新潟土木事務所（☎231―8310）へ




市制一〇〇周年記念
ミュージカル
アジブの扉

大人1,000円　小人300円
全席自由、お求めは市内プレイガイドで
9月23日①14時～②18時半～24日③13時半～ 県民会館